

八王子滝山里山保全地域 里山へGO！実施報告

1. 背景と目的

かつて、八王子滝山里山保全地域には、湧水や水路が残る休耕田地区と、雑木林や竹林などが広がる樹林地地区が一体となった昔ながらの里山の原風景が広がっていました。しかし、長年の管理不足によるアズマネザサの繁茂や外来種の侵入なども見られ、地域の一部は雑草地化してしまいました。「里山へGO！」では、かつての良好な里山環境を取り戻すべく、下草刈りや竹伐採など、動植物の生育・生息環境を回復、維持していくための活動を実施しています。

2. これまでの活動（全て「里山へGO！」）

【H27.9.26】同地域で初めてとなる「里山へGO！」を開催、総勢16名が参加し、在来植物の生育を促すために湿地沿いに繁茂した草を刈るとともに、過密になっているエリアを中心に竹伐採を行いました。伐採した竹は50本にも及び、その結果、陽が差し込む明るい竹林となりました。



【H28.12.3】冬季開催となった「里山へGO！」には、総勢15名が参加し、下草刈りや倒木処理に加え、落ち葉かきも行いました。今回処理した倒木は、太く重いものが多かったため、玉切りした木々は、リフティングトングという補助具を用いて運搬しました。また、春に草花が育つよう、林床に覆いかぶさっている落ち葉をかき取りました。



八王子滝山における「里山へGO！」は、初開催から昨年度まで計8回実施し、延べ209名のお力をお借りしながら、保全活動を行ってきました。こうした活動の甲斐あって、今まで手入れが行き届いていなかったエリアにおいても、竹林密度の適正化やアズマネザサの繁茂も抑制され、かつての良好な里山環境に回復しつつあります。今年度も同地域の自然環境を維持・回復すべく、冬季から春季にわたって保全活動を行いました。

3. 今年度の活動

今年度は、12月及び2月に合計2回の「里山へGO！」を開催し、保全活動を行いました。12月の活動では、明るく美しい森づくりの一貫として、「笹刈り」や「枝の剪定」、「つる植物の除去」を行い、作業前後の様子と比較により、保全活動の必要性を実感することができました。各作業においては、講師から当該作業を行う目的や効果についての説明がありました。参加者の皆さんは、枝の剪定により、風通りの改善を促すことで病害虫の繁殖を予防するという点や、つるが木にくい込み、その後枯れることを防ぐ点に留意しながら作業しました。

2月の活動では、実生の日当たり改善により、植物の生長を促す「落ち葉かき」や劣勢な竹を伐採することで、竹林の密度を調整することを目的とした「竹伐採」を行いました。落ち葉かきは、後に肥料として利用するため、堆肥場に集積するなど、資源循環の実践の機会となりました。竹伐採はこれまで、散策路から近いエリアを中心に作業してきましたが、今回は、散策路から奥深い、未だ過密状態となっているエリアを中心に伐採作業を行いました。作業面積は約400㎡に及び、30本以上の竹を切り出すことができました。皆さんのご協力により、竹林密度の適正化が図られ、作業後には散策路から谷戸まではっきりと見通せるようになりました。

「里山へGO！」では、引き続き、こうした保全活動を通して、保全地域内の多様な動植物や良好な自然の回復と保護に努めてまいります。



【R2.12.7】枝剪定の様子



【H27.9】竹林の状況

【R2.2】竹林の状況